

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

運用実績等

## ファンド概要

設定日	2015年8月28日
信託期間	2025年8月27日
決算日	毎年2月,5月,8月,11月の各27日(年4回)
信託報酬率	2.035% (税抜 年1.85%)
基準価額	9,777円
純資産総額	522,113,856円

※決算日が休業日の場合は翌営業日となります。  
※信託報酬率2.035%(税込)の他に運用成果に応じた実績報酬がかかります。

## 期間収益率

当ファンド	参考指数	
過去1ヶ月	-1.01%	-4.02%
過去3ヶ月	+5.47%	+2.32%
過去6ヶ月	+6.33%	-9.94%
過去1年	+16.42%	-1.94%
過去3年	+3.28%	-0.84%
設定来	+6.04%	+11.61%

※税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。

※参考指数は、TOPIX(東証株価指数 配当込み)を指します。

## 分配実績(1万口当たり、税引前)

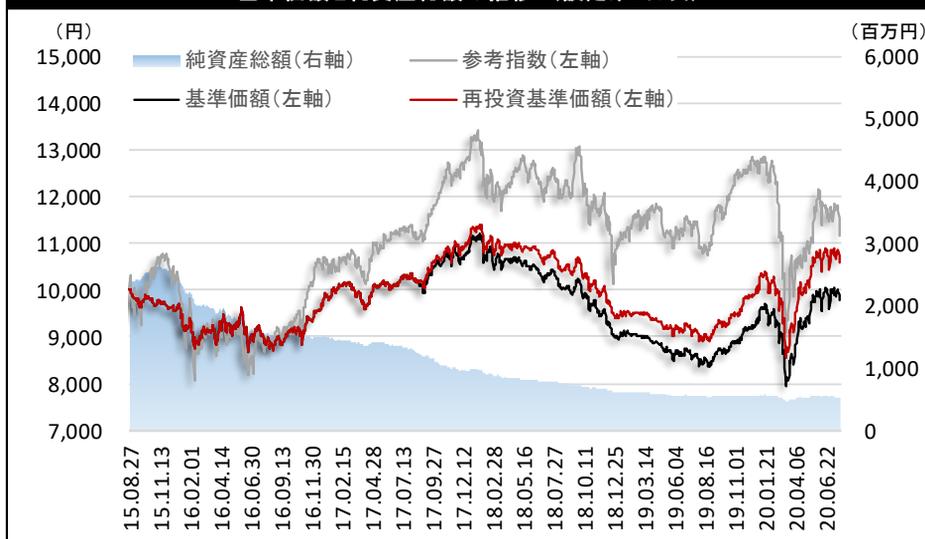
設定来合計	800円
第17期(2019年11月27日)	50円
第18期(2020年2月27日)	50円
第19期(2020年5月27日)	50円

※分配金実績は、過去の実績であり、将来の分配をお約束するものではありません。

※分配金は、交付目論見書記載の分配方針に基づき委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※分配金実績は、直近3期分を記載しています。

## 基準価額と純資産総額の推移(設定来:日次)



※基準価額は、信託報酬(年率概算(税込)2.035%)控除後の値です。

※再投資基準価額の推移は、税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。

※参考指数は、ファンド設定日前日のTOPIX(東証株価指数 配当込み)を10,000とした指数を使用しています。

TOPIX(東証株価指数)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

## 資産構成

MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・マザーファンド	98.97%
コール・ローンなど	1.03%
合計	100.00%

## ハイ・ウォーターマーク

次回計算期間の終了日まで	10,342円	※決算日前営業日の公表基準価額が翌期のハイ・ウォーターマークに更新されます。
--------------	---------	--

※決算日に収益分配金が発生した場合には、決算日前営業日の公表基準価額から収益分配金を控除した価額が、翌期のハイ・ウォーターマークとなります。

※信託報酬のほか、実績報酬を設けており、超過収益が発生した場合には収益の22.0%(税抜20%)が各決算日および償還時に支払われます。なお、実績報酬は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示することはできません。

※計算期間中にファンドの解約をした場合には、解約価額(基準価額公表から信託財産留保額を控除した額)が既に実績報酬を含んで算出されておりますので、追加で実績報酬が発生することはありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ポートフォリオ(マザーファンド)の状況

エクスポージャー	ロング・ポジション	ショート・ポジション
L/S エクスポージャー	83.59%	-15.88%
グロス・エクスポージャー	99.48%	
ネット・エクスポージャー	67.71%	

※エクスポージャーは、マザーファンドの純資産額に占める割合です。

*流動性	ロング・ポジション	ショート・ポジション
1日	98.35%	100.00%
3日間	99.17%	100.00%
5日間	99.55%	100.00%

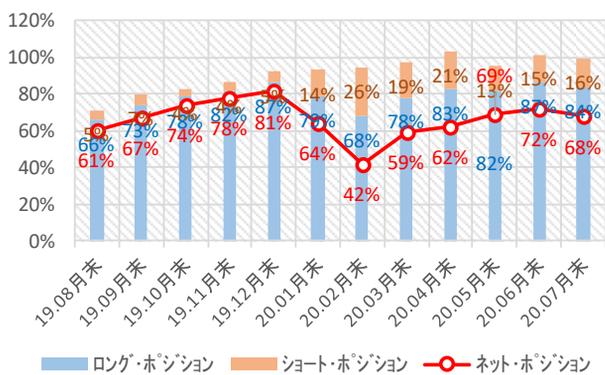
※流動性は、25日平均出来高の20%を売買することを前提として、保有するポジションを全て解消した場合にかかる目安を表しています。

保有銘柄数	ロング・ポジション	ショート・ポジション
179銘柄	152銘柄	27銘柄

※保有銘柄数は、組入れの株式と上場投資証券の数を表示しています。

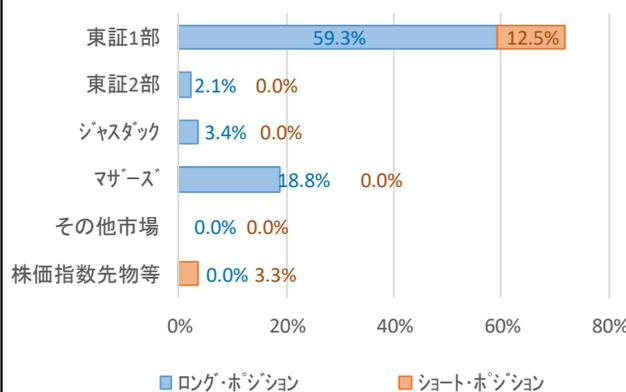
時価総額別	ロング・ポジション	ショート・ポジション
5,000億円超	18.26%	-4.74%
2,000億円~5,000億円	9.82%	-4.63%
500億円~2,000億円	27.47%	-1.85%
200億円~500億円	15.79%	-1.33%
200億円以下	12.25%	0.00%
株価指数先物等	0.00%	-3.34%

ロング・ショート比率の推移



※ロング・ショート比率の推移は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。また、直近12ヶ月分を表示しています。

市場別組入状況



※市場別組入れ状況は、ロングとショートの各ポジションのエクスポージャーの状況を市場別で表示しています。

銘柄別組入れ上位5銘柄

ロング・ポジション				ショート・ポジション	
銘柄コード	市場	銘柄名	業種等	業種等	純資産比
1	8806 東証1	ダイビル	不動産	株価指数先物等	2.24%
2	9449 東証1	GMOインターネット	情報通信	小売	1.89%
3	6758 東証1	ソニー	電気機器	小売	1.56%
4	4496 東証M	コマースOneホールディングス	情報通信	小売	1.24%
5	6532 東証1	ベйкаレント・コンサルティング	サービス	小売	1.23%

※上記内容は、マザーファンドの組入銘柄の紹介を目的として作成しましたが、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

※上記内容は、作成基準日における情報を元に作成していますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。

※当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

※業種については、東証33分類をもとに分類しております。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「配分方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

マンスリーコメント

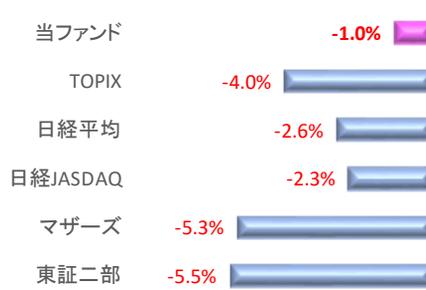
## 市況概況

日本株については、日経平均株価-2.6%、TOPIX-4.0%、中小型株については、東証マザーズ指数-5.3%、日経JASDAQ平均-2.3%と、久しぶりに全面安の展開となりました。

4月は新薬開発・欧米での経済活動再開への「期待」により、5月は欧米での経済活動再開・日本での緊急事態宣言の全面解除という「事実」の改善により、世界的に株価は上昇しました。6月は、前半は世界的な経済活動再開、雇用統計に代表される米国経済指標の改善により、まず上旬までは世界的に株価は上昇しました。しかし、中旬からは、中国、米国での感染者数再拡大により、一部店舗の再閉鎖という「事実」の悪化と、感染第二波を通じた「期待」の悪化により、世界的に株価は一進一退を繰り返す展開となりました。FED（連邦準備制度）のバランスシート拡大が一服したことも、株価の調整要因となりました。この7月も基本的にはコロナウイルス問題が市場を支配する形が続いております。世界的に感染者数が拡大を続ける中、株価が、中旬まではワクチン開発報道に左右され、後半からは企業業績で現実に引き戻されるという、一喜一憂の展開が続いております。

日本株についても、経済の正常化期待とコロナウイルス問題による経済停滞長期化への不安から、中旬まではバリュー株とグロース株が日替わりで相互に騰落を繰り返す形になりました。後半から始まった企業決算は、業界ごとの業績の違いが鮮明に表れ、投資家が現実に引き戻される形で株価が大きく動く展開となっております。

今月の月間推移騰落率



## 他の類似ファンドとの相違

最近では、AIやビッグデータ分析を活用した日本株ファンドが散見され、その中で、他のファンドと比較した場合の優劣について質問されるケースが増えております。

他のファンドがどのような運用を行っているかは外からはわかりませんが、「ソーシャルデータに基づくシステム」と「マクロデータ分析に基づくシステム」の二本立てで、ポートフォリオ構築を行っているのは、当ファンドのみではないかと感じております。

また、戦略的にも、ロングショート戦略を取っていること、ショートサイドが指数先物ではなく、主に個別銘柄で構成されていること、という違いがあります。今後は、他のAIファンドに対してはもちろんのこと、人間のファンドマネジャーが運用する一般ファンドに対しても有意な差別化を図ることを、継続的に考えてまいります。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

マンスリーコメント

## 運用概況

今月の当ファンドの基準価額は、前月末比-1.01%の下落率となりました。

5月28日より、新たにLink-U社を提携先とした上で、ファンド運用を行っております。新たなスキームは、ソーシャルデータを分析対象とし、そこに人間の知見を加えた上で、有望な事業や会社を抽出し、そこから具体的な投資対象を選択していくこととなります。

従来より、当ファンドにおいては、「市場で十分に認知されていない各種投資テーマの素早い捕捉」と、「各投資テーマに関わる適切な銘柄の発掘」の両方を目指した分析を行って参りましたが、その基本方針に大きな変更はありません。しかし、2015年に当ファンドをローンチした当時との比較では、AI（人工知能）を何らかの形で運用に取り入れているファンドが急増しております。そして、多くのファンドはAIを使った自動運用を目指しているような印象を持っております。しかし、今年3月の株価急落で、多くのAI関連ファンドは、相応の損失を計上しています。これは、将来予測の難しさを、特にAIに100%依拠する形での自動運用がかなり難しいということを端的に示していると考えられます。

したがって、当ファンドでは、「人間とAIの有機的融合」を通じた、運用の最適化を目指して参ります。特に、問題提起や、分析の方向性の決定に人間が積極関与することで、人間とAIの関与度合いに関し、状況に応じて柔軟に変更して参ります。現在は、定期的に弊社とLink-U社の間でソーシャルデータの分析を行うと共に、そこから得られるインプリケーションを議論する中で、新たな投資の種を見つける努力を行っております。当ファンドのパフォーマンス（再投資基準価額ベース）は、年初来で+5.7%、過去1年で+16.4%と、良好なリターンを出すことができっております。この期間には、2015年8月の本ファンド発足時からの時系列で見ても、顕著に高いリターンを出せており、それは、年始から、両社の間で議論や分析を行ってきた成果であると考えております。

当月は、マザーズの上昇が落ち着きを取り戻した中で、ロングサイドではコロナ後に存在感を示すと思われる銘柄を保有し、ショートサイドではコロナの影響を受けやすいと思われる銘柄を空売りました。その結果、日経平均株価とTOPIXには勝ちましたが、マイナスリターンを余儀なくされました。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

マンスリーコメント

## 今後の運用方針

今後の株価については、8月中旬まで続く4-6月期決算を通じて、投資家が現実の厳しさや実体経済の変化度合いの大きさを、身をもって体感する形で、個別株の上下動が続くと思われます。その中で、2015年以来、8月は、2016年を除いて株価が振るわず、2016年も日銀の政策変更で中身がガラリと変わるなど、要注意の月となっております。

7月後半の日本株の弱さも、それを意識したものと思われます。米中摩擦が、覇権争いのフェーズに激化していることも、要注意の要因と思われます。一方で、多くの投資家に既に8月のリスクが織り込まれているので、ポジティブ要因に反応しやすくなっていると同時に、以下の要因も考慮する必要があります。

- ① 各国の政策余力減退で、仮にコロナウイルス感染拡大第二波が来ても、経済を止める選択肢は選ばれにくい
- ② 少なくとも、米国金利を見る限り、米国の政策余地は残されている
- ③ 「withコロナ」「afterコロナ」関連の銘柄は、成長可能性が高まる
- ④ 各国の低金利政策で、「マネー量の拡大」と「債券忌避の流れ」が続く

個人的には、日本株については、昨年10月に引き上げた消費税の引き下げ可能性のような強いポジティブ要因が発生すると、相対的に悲観的見方が強いマーケットだけに、大きな株価上昇余地が出てくると考えられます。

以上のシナリオを考慮して、8月の日本株については、ドル円100円~110円前提で、日経平均株価で21,000円から23,000円（7月末終値21,710円の概ね±1,000円）のレンジでの、振れ幅の広い展開を予想します。

当ファンドにおいても、Link-U社と引き続きソーシャルデータの活用を通じたリターン向上を志向して参る所存です。今後も様々な検討を行って、多角的にファンドリターン向上を目指して参りますので、当ファンドの飛躍にご期待頂ければ幸いです。

その上で、当月は、引き続き、ロングサイドにおいて、有望と目されるグロース株を中心に固め、ショートサイドは短期・長期を問わずAI分析で抽出される銘柄を配置する形で、柔軟な運用とリターンの極大化を目指して参ります。

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

マンスリーコメント

## 今月のトピックス

～今こそ鉄道会社は創業当時のベンチャースピリットを思い出せ～

コロナ問題による鉄道会社の苦境に、私は様々な形で触れてきた。ここでは、違う角度から、鉄道会社を見てみたい。

1900年代前半に、多くの私鉄が現在に近い鉄道網の敷設を完了した。この当時は、東急電鉄の五島慶太氏、西武鉄道の堤康次郎氏、東武鉄道の根津嘉一氏、阪急電鉄の小林一三氏といった、個性に溢れた経営者が、鉄道会社を率いていた。この頃の鉄道会社の状況を、現在と比較すると、大きな相違点が一つあると私は考えている。今の鉄道会社は、「既存の鉄道インフラ」という過去の遺産を活用した事業展開を図っているのに対し、20世紀初頭の私鉄各社は、時期的に鉄道敷設と同タイミングかわずかなタイムラグをもって、住宅や商業施設の開拓を行っている。

つまり、何も無いところに鉄道を引くという、起業家精神が満ち溢れていないとできないような難事業に取り組んでいたということだ。もっと単純化すると、今の鉄道会社は、「電車が通っている土地を開発」しているにすぎないが、20世紀初頭の鉄道会社は「自分の所有地に鉄道を引く」という壮大な事業を展開していたのだ。これは、インターネットが進展して、今のインターネット関連企業が、大前研一氏が述べる「見えない大陸」を様々な角度から「開発」している姿と同視できる。つまり、当時の鉄道会社は、今のM3やユニクロ、メルカリ、ソフトバンクグループといった現在の新進気鋭の会社に引けをとらない会社だったということだ。

確かに、現在の鉄道会社は、既存の鉄道事業というインフラを活かして、駅の周辺の商業開発・宅地開発を次々に成功させ、主要都市の機能面の充実を裏方で支えてきた。しかし、裏を返せば、彼らは先人が苦労して築いた鉄道インフラという贈与物に甘え溺れて、社員の力ではなく駅の力に頼った事業拡大を進めてきたにすぎない。気が付いたら、不動産開発事業、ホテル事業、小売事業、オフィス賃貸事業のような分野にまで進出を果たしてきたが、それらの概ね全部が「先人の敷いた鉄道インフラ」を前提とし、逆に言えば、その鉄道インフラの価値が落ちたらつるべ落とし的に概ね全ての業績が悪化する事業構造を作り上げてきた。そして、明治時代のスタートから始まった近代日本の歴史上で、初めてと言ってもいいような変化が、コロナウイルスによってもたらされた。その変化とは、人の移動の減少である。

これは、ある意味で、「見えない大陸」が「見える大陸」を凌駕しつつある現状を端的に示している。そして、私たちは、コロナ問題によって、鉄道会社が、衰退に向かっていった「見える大陸」の開発にのめりこんでいたことが目の当たりにすることになった。その意味で私は、鉄道会社は、彼らのほぼ全事業が「見える大陸」に関するものであったという意味で、各社の歴史上初めてと言ってもいいほどの、「長期的な業績衰退の入り口」に差し掛かっているように思える。

それでは、このような未曾有の社会変化の真っ只中で、今、各鉄道会社がやるべきことは何か？それは、各社が、100年前は、今の先進企業に勝るとも劣らないベンチャー企業であったことを各社員が思い出し、その時と同様の気持ちを常に持ち続けながら現在の事業を見つめ直すことであるとする。その意味では、まだ盛り返すための可能性も時間も残されていると思われる。

リニアをこれから作ろうとする会社を除けば。

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

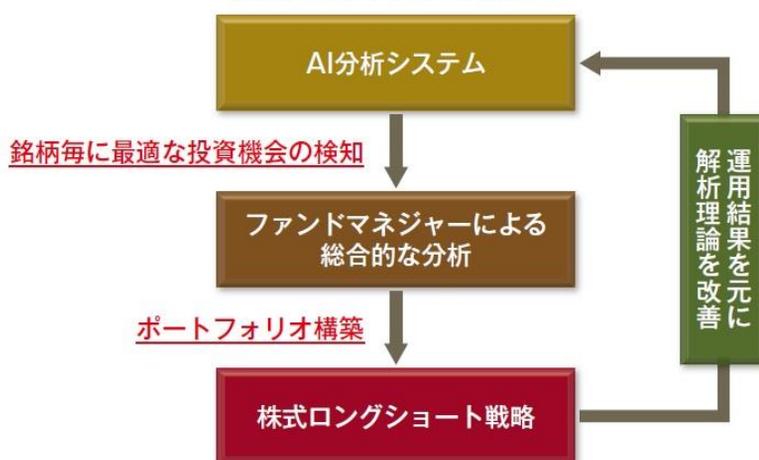
ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの目的・特色

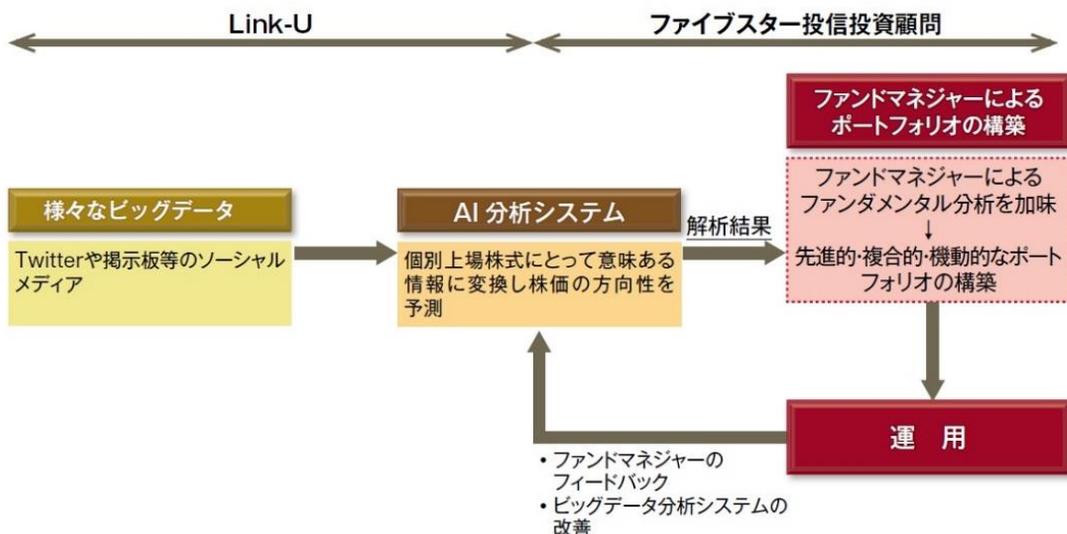
## 運用プロセス

「AI分析システム」による様々なビッグデータの統合的な分析を通じて、近未来の株価変動を予測し、その結果に基づいて買建て・売建ての最適な組み合わせのポートフォリオを構築します。

### 投資実行プロセスの概念図



## システムプロセス



※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

### ☆☆☆☆ 株式会社Link-U の紹介

Link-Uは、自社設計のオリジナルサーバーを基軸としたデータ配信と、そのデータを適切に蓄積・分析・処理するAIソリューションを合わせて、ワンストップで提供するサーバープラットフォームビジネスを展開している。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術、コンテンツ処理技術などが強みです。2019年7月に東証マザーズ上場、2020年7月東証第一部に上場市場を変更。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

投資リスク等

## 基準価額の変動要因

**信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。**

当ファンドは、投資信託証券(マザーファンド)への投資を通じて値動きのある有価証券などを実質的な投資対象としますので、当ファンドの基準価額は変動します。また、組入れられた有価証券等の価格の下落や、有価証券等の発行体の財務状況や業績悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被る場合があります。従って、**受益者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。**

ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

## 有価証券の価格変動リスク

当ファンドは、実質的に国内の株式等を主要投資対象としますので、当ファンドの基準価額は当該株式等の価格変動の影響を大きく受けます。株式等の価格は、国内外の政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受けて変動します。従って、株式等の予想外の価格変動があった場合には、当ファンドに重大な損失が生じる場合があります。当ファンドでは、中小型株式や新興企業株式に投資する場合がありますが、中小型株式や新興企業株式の株式は、大型株に比べ株価が大幅に変動することがあります。

## ロングショート戦略固有のリスク

当ファンドが投資する投資信託証券(マザーファンド)は、株式のロング(買建て)のほかに、株式のショート(売建て)を行いますので、ロングした株式の価格が下落した場合、またショートした株式の価格が上昇した場合には、当ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼし、場合によっては基準価額が大幅に下落する場合があります。また、ショートの特性上、損失が想定以上になることもあります(また、株式をショートするにあつては、借入コストが発生します)。

## 流動性リスク

市場取引量の急激な増大、市場規模の縮小、市場の混乱等の影響により、注文時に想定していた価格と大きく異なる価格で売買が成立する可能性があります。従って、組入れ有価証券等の予想外の流動性があつた場合には、当ファンドに重大な損失が生じる場合があります。一般に中小型株式や新興企業株式の株式は、市場規模や取引量が少ないため、このような状況に陥る可能性が高い場合があります。

## 信用リスク

当ファンドは、投資信託証券(マザーファンド)への投資を通じて、実質的に投資している有価証券の発行体において、経営不振、その他の理由により債務不履行が発生した場合、またはそうした事態が予測される場合等には、当該発行体が発行する有価証券の価格は大きく下落し、基準価額が値下がりする場合があります。

## 解約による資金流出に伴うリスク

一部解約金の支払資金を手当てするために、当ファンドが投資する投資信託証券(マザーファンド)において、組入れている有価証券等を大量に売却する場合があります。この場合、市場規模や市場動向によっては、有価証券等を当初期待された価格で売却できない場合があり、当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

## その他のリスク

「ビッグデータ分析システム」が何らかの影響により機能しない等システム運用関係の不慮の出来事によるリスクが生じる可能性があります。株式市場の状況によっては、株式の売買が数多く発生し多額の売買コストが発生する可能性があります。  
(ご注意)上記は、ファンドにおける基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンド購入価額によっては、分配金の一部または全部が実質的には元本の一部払戻に相当する場合があります。

## 分配方針

毎年4回(2月、5月、8月、11月の各27日。ただし、休業日の場合には翌営業日とします。)決算を行い、以下の方針に基づいて収益の分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。
- 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益について、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、運用を行います。

※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

## MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## お申込メモ

購入単位	1口または1円単位として販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	1口単位として販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
換金価額	換金(解約)受付日の基準価額に信託財産留保額を控除した額
換金代金	原則として換金(解約)受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、1億口または1億円以上の換金(解約)請求は、正午までをお願いします。
購入・換金・申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金(解約)の受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金(解約)申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	原則として2025年8月27日までです。(2015年8月28日設定)
繰上償還	次のいずれかの場合等には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託者と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ● 受益権の口数が10億口を下回るようになった場合 ● やむを得ない事情が発生したとき ● 繰上償還することが投資者のために有利であると認めるとき
決算日	毎年4回(2月、5月、8月、11月の各27日)。ただし、休業日の場合には翌営業日)
収益分配	年4回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
信託金の限度額	ファンドの信託金の限度額は5,000億円です。
公告	電子公告により行ない、委託会社のホームページに掲載します。 ホームページアドレス <a href="http://www.fivestar-am.co.jp">http://www.fivestar-am.co.jp</a> なお、やむを得ない事由により公告を電子公告によって行なうことができない場合には、公告は日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年2月、8月の決算時および償還後に交付運用報告書を作成し、知っている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度、未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用があります。 益金不算入制度は適用されません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認くださいのうえ、お客様ご自身でご判断ください。

# MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 購入申込日(ただし、当初募集期間においては、1口当たり1円)の基準価額に申込口数を乗じて得た額に、上限を<b>3.30%(税抜 3.0%)</b>として、販売会社が定める料率を乗じて得た額とします。</li> <li>● 購入手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、並びに販売の事務等の対価です。</li> </ul>
信託財産留保額	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一部解約申込日の基準価額から、当該基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。</li> <li>● 信託財産留保額は、ご換金(解約)額から控除され、投資信託財産に組入れられます。</li> </ul>

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

<p>ファンドの日々の純資産総額に<b>年2.035(税抜 1.85%)</b>の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。</p>																												
運用管理費用 (信託報酬)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)</th> <th colspan="3">年率1.85%</th> <th>運用管理費用＝ 日々の純資産総額×信託報酬率</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">運用管理費用 (信託報酬) の配分</th> <th>純資産総額</th> <th>30億円以下 の部分</th> <th>30億円超 50億円以下 の部分</th> <th>50億円超 の部分</th> <th></th> </tr> <tr> <th>委託会社</th> <td>年1.03%</td> <td>年0.98%</td> <td>年0.93%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <th>販売会社</th> <td>年0.75%</td> <td>年0.80%</td> <td>年0.85%</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類 の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td> </tr> <tr> <th>受託会社</th> <td colspan="3">年0.07%</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実 行の対価</td> </tr> </table>	当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)		年率1.85%			運用管理費用＝ 日々の純資産総額×信託報酬率	運用管理費用 (信託報酬) の配分	純資産総額	30億円以下 の部分	30億円超 50億円以下 の部分	50億円超 の部分		委託会社	年1.03%	年0.98%	年0.93%	委託した資金の運用の対価	販売会社	年0.75%	年0.80%	年0.85%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類 の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	年0.07%			運用財産の管理、委託会社からの指図の実 行の対価
	当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)		年率1.85%			運用管理費用＝ 日々の純資産総額×信託報酬率																						
	運用管理費用 (信託報酬) の配分	純資産総額	30億円以下 の部分	30億円超 50億円以下 の部分	50億円超 の部分																							
		委託会社	年1.03%	年0.98%	年0.93%	委託した資金の運用の対価																						
販売会社		年0.75%	年0.80%	年0.85%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類 の送付、口座内でのファンドの管理等の対価																							
受託会社	年0.07%			運用財産の管理、委託会社からの指図の実 行の対価																								
<p>※表中の率は税抜きです。別途、消費税がかかります。 ※信託報酬のほかに、実績報酬(ハイ・ウォーターマーク方式)を設けており、超過収益が発生した場合には収益の22.0%(税抜20%)が各計算期末および償還時に支払われます。なお、当該費用は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示することができません。</p>																												
その他の費用・ 手数料	<p>以下の費用・手数料等は、信託財産中から支払われます。</p> <table border="1"> <tr> <td>法定書類の作成・印刷・交付に係る費用</td> <td>有価証券届出書、有価証券報告書および臨時報告書(これらの訂正に係る書類を含みます。)、運用報告書の作成、印刷および提出に係る費用</td> </tr> <tr> <td>監査費用</td> <td>監査法人等に支払う信託財産の財務諸表の監査に要する費用</td> </tr> <tr> <td>信託財産の計理業務およびこれに付随する業務に係る費用</td> <td>信託の計理業務(設定解約処理、約定処理、基準価額算出、決算処理等)およびこれに付随する業務(法定帳票管理、法定報告等)に係る費用</td> </tr> <tr> <td>信託事務の処理に関する費用</td> <td>信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、信託財産において資金借入をした際の利息</td> </tr> <tr> <td>組入る有価証券取引に伴う費用</td> <td>組入る有価証券の売買の際に仲介人に支払う売買委託手数料等</td> </tr> <tr> <td>公告に係る費用</td> <td>信託の受益者に対して行なう公告に係る費用ならびに信託約款の変更または信託契約の解約に係る事項を記載した書面の作成、印刷および交付に係る費用</td> </tr> <tr> <td>法律顧問および税務顧問に対する報酬および費用</td> <td>法律顧問ならびに税務顧問等に支払う信託財産に関する法律・税務に対する助言等の費用</td> </tr> </table> <p>※これらの費用等は、運用の状況等により変動するため、料率、上限等を予め表示することはできません。</p>	法定書類の作成・印刷・交付に係る費用	有価証券届出書、有価証券報告書および臨時報告書(これらの訂正に係る書類を含みます。)、運用報告書の作成、印刷および提出に係る費用	監査費用	監査法人等に支払う信託財産の財務諸表の監査に要する費用	信託財産の計理業務およびこれに付随する業務に係る費用	信託の計理業務(設定解約処理、約定処理、基準価額算出、決算処理等)およびこれに付随する業務(法定帳票管理、法定報告等)に係る費用	信託事務の処理に関する費用	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、信託財産において資金借入をした際の利息	組入る有価証券取引に伴う費用	組入る有価証券の売買の際に仲介人に支払う売買委託手数料等	公告に係る費用	信託の受益者に対して行なう公告に係る費用ならびに信託約款の変更または信託契約の解約に係る事項を記載した書面の作成、印刷および交付に係る費用	法律顧問および税務顧問に対する報酬および費用	法律顧問ならびに税務顧問等に支払う信託財産に関する法律・税務に対する助言等の費用													
法定書類の作成・印刷・交付に係る費用	有価証券届出書、有価証券報告書および臨時報告書(これらの訂正に係る書類を含みます。)、運用報告書の作成、印刷および提出に係る費用																											
監査費用	監査法人等に支払う信託財産の財務諸表の監査に要する費用																											
信託財産の計理業務およびこれに付随する業務に係る費用	信託の計理業務(設定解約処理、約定処理、基準価額算出、決算処理等)およびこれに付随する業務(法定帳票管理、法定報告等)に係る費用																											
信託事務の処理に関する費用	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、信託財産において資金借入をした際の利息																											
組入る有価証券取引に伴う費用	組入る有価証券の売買の際に仲介人に支払う売買委託手数料等																											
公告に係る費用	信託の受益者に対して行なう公告に係る費用ならびに信託約款の変更または信託契約の解約に係る事項を記載した書面の作成、印刷および交付に係る費用																											
法律顧問および税務顧問に対する報酬および費用	法律顧問ならびに税務顧問等に支払う信託財産に関する法律・税務に対する助言等の費用																											

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

## MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド

追加型投信/国内/株式/特殊型  
(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの関係法人

委託会社: 信託財産の運用指図等を行います。

委託会社の照会先

ファイブスター投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2266号  
一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員ホームページアドレス  
<http://www.fivestar-am.co.jp/>  
お客様デスク  
03-3553-8711  
(受付時間: 委託会社の営業日の午前9時~午後5時まで)

受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社  
(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

販売会社: 受益権の募集・販売の取扱い、換金(解約)事務、換金代金・収益分配金・償還金の支払い等を行います。

## 販売会社の名称等

お取り扱い 販売会社一覧		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
今村証券株式会社	金融商品 取引業者	北陸財務局長 (金商)第3号	○			
岡地証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長 (金商)第5号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○		○	○
木村証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長 (金商)第6号	○			
共和証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第64号	○	○		
静岡東海証券 株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長 (金商)第8号	○			
日産証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第131号	○		○	
三田証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第175号	○			
楽天証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○
リーディング証券 株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第78号	○			

※加入している金融商品取引業協会を○で表示しています。

※上記の表は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から細心の注意を払い作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。